

「阿蘇の大地でいきいき子育て塾」

- 【主催】 国立阿蘇青少年交流の家
【後援】 熊本県教育委員会 阿蘇市教育委員会
【期間】 平成25年9月21日（土）～23日（月）
【実施場所】 国立阿蘇青少年交流の家 モーモーファーム竹原牧場
【参加者】 33名（10ファミリー）
ボランティア5名
【講師】 NPO法人 子育て談話室 理事長 柴田 恒美 氏
高森お話の会 長崎てつよ 氏
高森お話の会 沼田 洋子 氏
あそBe隊 薄井 良文 氏
あそBe隊 井 八夫 氏
あそBe隊 木村裕次郎 氏
あそBe隊 山部 朝夫 氏
あそBe隊 井上 孝彦 氏
あそBe隊 山本奈緒美 氏
モーモーファーム竹原牧場職員

1 趣 旨

幼児期における様々な体験活動や規則正しい生活習慣（早寝・早起き・朝ごはんなど）を身に付けさせることが子どもの知・徳・体をバランスよく成長させていく上で重要な要素であることを保護者に理解してもらう。また、各家庭の子育ての在り方に係わる情報交換会や講演等をとおして、保護者同士で望ましい子育てについて考えたり、悩みを共感したりすることができるようにする。

2 目 標

- (1) 本事業をとおして、保護者が幼児期における自然体験活動や規則正しい生活習慣を身に付けさせることの意義や重要性について理解することができる。
- (2) 子育てに関する講演を聴いたり、保護者同士で情報交換をしたりすることにより、保護者が今後の子育てについて見通しをもつことができる。
- (3) 参加する年長児が自然体験活動や親とのふれあい活動等をとおして楽しい時間を過ごすことができる。

3 事業展開

(1) 研修プログラム

9月21日(土)	7:00	8:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	20:00	21:00	22:00	23:00
								開会式	部屋へ移動	ASOびんピック【親・子】	入浴	夕飯のついで	夕食	移動	読み聞かせ【親・子】	就寝	
9月22日(日)	7:00	8:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	20:00	21:00	22:00	23:00
	朝のついで	朝食	活動準備	自然体験活動【子】	移動	昼食	移動	牛の乳搾りとバター作り【親・子】	動物とのふれあい	入浴	夕飯のついで	夕食	移動	音楽鑑賞【子】	子育て情報交換会【親】	就寝	
				講演【親】													
9月23日(月)	7:00	8:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	20:00	21:00	22:00	23:00
	朝のついで	朝食	部屋の整理	押し花コースター作り	後片付け	閉会式	退所										

(2) 目標達成のための手立て

① 子育て講演会の在り方の工夫

保護者に幼児期における自然体験活動や規則正しい生活習慣を身に付けさせることの意義や重要性について理解してもらうために、子育てに関する講演会を開いた。講師は、地域子育て支援拠点事業、ファミリーサポートセンター事業のほか、学童保育、訪問型子育て支援事業の総括を務める傍ら、不登校などの子どもの居場所作りや相談、さらには町づくりに取り組んでいる「NPO法人子育て談話室」理事長の柴田恒美氏に依頼した。柴田氏には、講演だけでなく、その後の親子のふれあい活動、夜の情報交換会にも参加していただき、夜の子育て情報交換会においても指導助言をしていただくようにした。また、保護者が集中して講演会に参加できるように、子どもたちは親元を離れ、ボランティアとともに自然体験活動やレクリエーションに参加した。講演は柴田氏による一方的な話で終始するのではなく、途中でグループを作り、望ましい子育てについて考えを出し合ってKJ法で整理する活動があったり、保護者の質問に答えたりするなど、講師と保護者が一体となった双方向の充実した内容になった。柴田氏を交えた夜の情報交換会では、保護者が、今感じている子育てに関する悩みを出し合った。柴田氏は保護者の子育てに関する悩みを真摯に受け止め、保護者の気持ちに寄り添い、そして共感しながら適切な助言をしていた。参加した保護者は今、悩んでいることを他の人に聞いてもらったり、他の保護者も同じような悩みを抱えていることを知ったりしたことで、かなり気持ちが和らいだようである。



② 親子でふれあう活動の充実

保護者に自然体験活動のよさやすばらしさを実感してもらうとともに、親子でふれあう活動を充実させるために、今回のプログラムでは、自然の中での体験活動を意図的に位置づけた。1日目は、親子でのふれあい活動を中心とした。本施設到着後すぐ、アイスブレイキングも兼ねて「ASOびんピック」を親子で行い、他の家族とも交流ができるようにした。夜は、高森お話の会の長崎氏と沼田氏を講師に招き、「絵本の読み聞かせ」を行った。講師の2人は阿蘇に関わる絵本を取り上げたり、ペープサートや指遊びを取り入れたりするなど、子どもたちが集中して話が聴けるようにプログラム構成や読み聞かせの方法を工夫していた。読み聞かせが終わった後、「家に帰って、子どもに

読み聞かせをしてやろう。」と、刺激を受けた方もいた。2日目は、自然体験活動としてモーモーファーム竹原牧場において、牛の乳搾り体験や搾りたての牛乳を使ったバターづくり体験などを親子で行った。中には、牛を怖がる幼児が見られたが、保護者がだっこして一緒に乳搾りを体験していた。その後、参加者はボランティア

も加わって芝生の上でボール遊びをしたり、牧場にいる犬をなでたりなど、自然の中での活動を心ゆくまで楽しんでいた。これらの体験をとおして、保護者は自然の中で活動することのよさや、日々の生活の中で親子がふれあえる時間を確保していくことの必要性を再認識したようである。参加した子どもたちは、笑顔いっぱい汗をたくさんかきながら親と楽しい時間を過ごしていた。



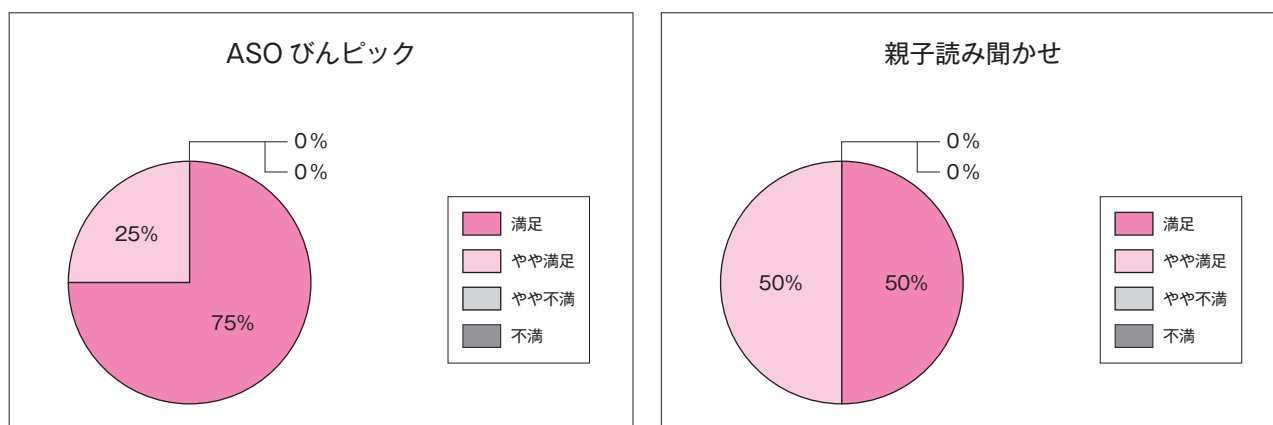
③ 子どもの自然体験活動を活かしたクラフト活動

保護者が柴田氏の講演会に参加している間、子どもたちはボランティアと一緒に体育館でレクリエーションをした。レクリエーションでは、ボランティアが考えたしっぽ取りゲームをしたり、「くまモン体操」を踊ったりして、子どもたち同士の交流を深めることができた。その後、子どもたちはグループに分かれて、草花ビンゴゲームを楽しんだ。活動に入る前に、子どもたちにキャンプ場に咲いている草花を摘み取って袋に入れるように伝えた。子どもたちは、ツユクサやゲンノショウコなど思い思いに好きな花を摘み取っていた。子どもたちが摘み取った草花は、3日目の押し花コースター作りで使った。親子で草花の配置を考え、ピンセットを使いながら協力してコースターを作っており、参加した保護者の感想の中には、「子どもたちが採ってきた草花をお土産として持って帰られるので、とてもよい思い出になりました。」など好意的なものが多数あった。

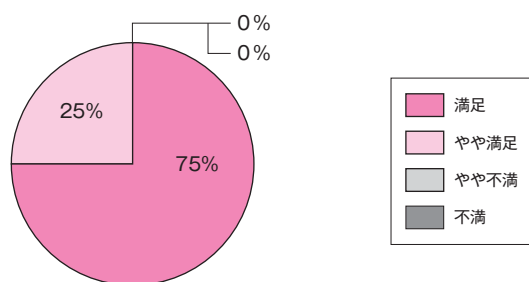
4 結果

アンケートの結果は次のとおりである。

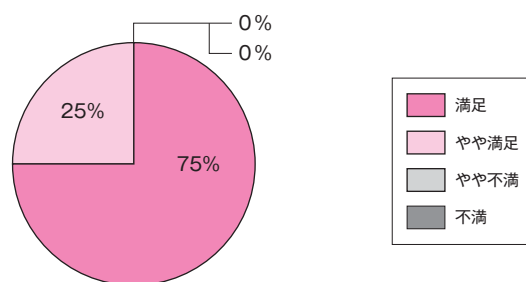
〈保護者へのアンケート～各プログラム内容への満足度〉



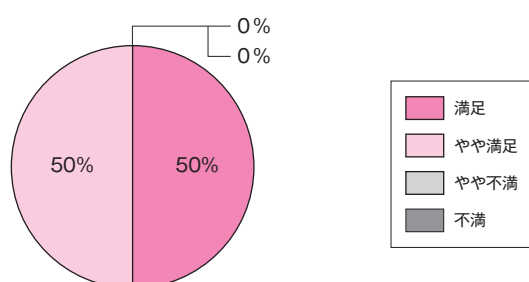
子育て講演会【子育て情報交換会を含む】



押し花コースター作り



牛の乳搾りとバター作り体験



【保護者の声（アンケート記述）】

- 日常生活から離れ、自分たちの子育てを見直せる場所として、今回の子育て塾に参加して本当によかったです。
- 子育て講演会の内容には、満足しています。ありがとうございました。
- 子育て情報交換会は、子どもを育てる上で共通の悩み等をゆっくり話せる場として、とてもよかったです。他の参加者の意見がとても参考になりました。まだまだ話し合いがしたかったので、正直、時間が足りなかったくらいです。いろいろな家庭がある中で、どの親も一生懸命に子育てをしていることが分かりました。
- 慣れた頃に帰るというパターンでした。大学生のボランティアのお兄さんがたくさん遊んでくれたので、子どもは満足した様子でした。ボランティアにたくさん遊んでもらったことで、子育ては親だけでするものではないと感じました。
- 今まで子どもが怖がっていたので牛の乳搾りができなかったのですが、今日、初めて一緒にできて楽しかったです。
- 子どもたちが採ってきた草花をお土産として持って帰られるので、とてもよい思い出になりました。久しぶりに熱中する細かい作業でした。
- 絵本の読み聞かせは、秋という季節感や阿蘇にちなんだ内容があり、よかったです。

5 成果と課題

(1) 成 果

- ① 事業の趣旨や講演会の内容について柴田氏と事前打ち合わせを密に行ったので、保護者に幼児期における自然体験活動や規則正しい生活習慣を身に付けさせることの意義や重要性について楽しく理解してもらうことができた。
- ② 夜の子育てに関する情報交換会では、柴田氏に専門的な立場から助言をしていただいた。
限られた時間ではあったが、みんなで保護者一人一人の困り感を共有しながら、温かい雰囲気の中で意見交換をすることができた。事業後に行ったアンケートには、「他の参加者の意見がとても参考になりました。」などの感想があり、今後の子育てに見通しをもつことができたようである。
- ③ スポーツ交流活動の「ASOびんピック」や高森お話の会の絵本の読み聞かせ、竹原牧場での牛の乳搾り体験やバター作り、押し花コースター作りなどの親子のふれあい活動をとおして、親子ともに楽しい時間を過ごすことができた。

(2) 課 題

- ① 年長児以外に幼児を連れて参加している保護者がいたので、講演会等に集中して参加できるように、幼児のお世話をするボランティアを確保しておく必要がある。
- ② 実施時期が小学校の運動会の時期と重なったため、小学生に兄弟がいる保護者は参加できなかったようである。実施時期については検討の余地がある。